

氏名	押野 修司	部署	作業療法学科	職名	准教授
研究分野	発達障害、動物介在療法、身体教育				
学位	経済学士、修士(リハビリテーション)				
学歴	1987年明治大学政治経済学部、1991年専門学校社会医学技術学院作業療法学科、2003年筑波大学大学院教育研究科、2017年首都大学東京大学院人間健康科学研究科単位取得退学				
経歴	1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本作業療法士協会(事例登録制度A審査員、日本作業療法学会演題審査委員)、埼玉県作業療法士会(機関誌編集委員)、日本リハビリテーション連携科学学会(学術誌査読委員)、特定非営利活動法人動物介在教育・療法学会(理事、学術雑誌編集委員、動物介在療法コーディネーター養成講座委員)、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(理事、会計委員長)				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1 該当なし					
(2) 論文					
1	地域在住高齢者に対する健康づくり支援システムの考案と効果の検証	共著	埼玉作業療法研究17、10-18	押野修司、松尾彰久、南雲浩隆、小池祐士、久保田富夫	2018.5
(3) 学会発表					
1	「発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修」受講者の意識変化～感覚の受け取り方の偏りに対する配慮について～	共著	第27回埼玉県作業療法学会、入間郡毛呂山町	○関小織、倉林早紀、押野修司、田坂翔太、川俣実	2018.6
2	地域在住高齢者に対する健康づくり支援システムの考案と効果の検証	共著	第52回日本作業療法学会、名古屋市	○押野修司、松尾彰久、南雲浩隆、小池祐士、久保田富夫	2018.9
3	動物介在療法コーディネーター養成講座のビデオ教材作成	共著	第11回動物介在教育・療法学会学術大会、文京区	○押野修司、土田浩生、佐野葉子、水越美奈、的場美芳子	2018.11
4	動物介在療法コーディネーター養成講座委員会より動物介在療法アシスタントコースを開催して	共著	第11回動物介在教育・療法学会学術大会、文京区	○佐野葉子、押野修司、土田浩生、水越美奈、的場美芳子	2018.11
(4) その他					
1	3.推進会議による研修にIPW実習の成果を活かし始めて 1)IPW実習の教員ファシリテーターと専門職連携推進会議の地域担当という役割を通して	単著	保健医療福祉科学7、108-109	押野修司	2018.3
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	協調運動に困難を示す学童に対する伝承遊びの指導とその効果(研究代表者)			2016.4～2019.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	発達期作業療法学(科目責任者:押野修司)	2018.4～7	定型発達(運動、認知、社会性、ADL)はを動画教材を併用し講義を行った。対象となる主な疾患および障害の定義、問題点、治療についてグループワークによるアクティブラーニングを行った。		
2	生活環境技術学(科目責任者:小池祐士)	2018.10～12	学生の視野を広げるため、グループワークにより、自励具デザイン、新規事業などを、学生の目線から発表するというアクティブラーニングを行った。		
3	小児保健看護学(科目責任者:健康開発学科口腔保健学専攻 佐藤玲子)	2019.1	小児期の成長発達の遅れを理解するために、小児期の障害と補助具の使用及び支援について講義を行った。		
(2) 演習					
1	臨床作業療法演習(科目責任者:中村裕美)	2018.11～12	学生が臨地実習に必要なADL指導(更衣)の演習の補助とOSCEの1ブースの評価を担当した。		
2	生活環境技術学演習(科目責任者:小池祐士)	2018.12～2019.1	コミュニケーション分野の支援技術、WindowsOSのアクセシビリティ機能の実習、透明文字盤の作成を行う。		
3	卒業研究ゼミナール(科目責任者:押野修司)	2018.10～2019.1	「卒業研究」が円滑に進められるように、手引きの作成、ゼミ配置の補助、卒業研究の進捗管理、卒業研究計画発表会の企画運営を行う。		
4	作業療法記録報告法(科目責任者押野修司)	2018.10-12	作業療法の記録報告に関する事項の講義及び、動画教材を用いて実際に観察した内容を、事実と考察に分けて記述できるように演習を行った。		

(3)実習				
1	基礎作業学実習(科目責任者:押野修司)	2018.10~12	臨床現場でよく用いられる作業について実習を行い、活動分析を実施した。自らテーマを決めて学生間での講義と実習を計画・実施した。	
2	作業分析学実習(科目責任者:川俣実)	2018.11~12	実際に革細工による小銭入れ作りの作業実習を行い、作業実施に必要な道具、工程、要求される機能などの活動分析を実施した。	
3	発達期作業療法実習(科目責任者:川俣実)	2018.5~7	情報収集、観察、面接、発達検査について講義し、子ども、保護者との関わり方を学生に示し指導し、観察記録の書き方についても添削、指導した。	
4	IPW実習①(総括科目責任者:松下誠)	2018.8	学生が自らの専門性に気づき、また他の専門性を尊重し、4日間のケアプラン作成過程を体験し、チーム形成を学ぶ支援を実施した(秩父地域)。	
5	臨地実習Ⅰ-1(科目責任者:南雲浩隆)	2019.2~3	2年次生を対象に、2名の学生の身体機能領域の臨地実習指導を行った。合理的配慮申請をしている1名の学生の現場での見守りを実施した。	
6	臨地実習Ⅱ 科目責任者:(身体)臼倉京子、(精神)大橋秀行	2018.4~8	4年次生を対象に、身体機能領域(4名)および精神機能領域(3名)の臨地実習指導を行った。	
(4)論文指導				
1	卒業研究(学部学生)	2018.4~2019.3	主指導:3年3名、4年4名	
(5)その他				
1	学年担当	2018.4~2019.3	2年次学生(42名)の学年担任を務めた。障害学生の合理的配慮継続申請(2名)、休学申請(1名)の支援を実施した。	
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	「発達障害支援専門研修」	埼玉県発達障害総合支援センター	「発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修②」(スムーズな体の使い方を育む関わり方を知る)	2019.1
2	狭山市保育士研修巡回指導	狭山市	「狭山市保育士研修巡回指導」	2018.6、2018.11
3	第1回動物介在療法アシスタントコース	特定非営利活動法人 動物介在教育・療学会	「医療各論Ⅰ:動物介在療法に関するスタッフ」「動物介在療法実習Ⅰ:模擬実習1」「動物介在療法実習Ⅰ:模擬実習1」	2018.6
4	第2回動物介在療法アシスタントコース	特定非営利活動法人 動物介在教育・療学会	「医療総論:医療・福祉の基礎知識⑤:医療・福祉施設で働くスタッフ」「動物介在療法実習:現場再現ロールプレイ①(高齢者施設でのリハビリ)」「動物介在療法実習:現場再現ロールプレイ②(病棟での動物介在療法)」	2018.9
(2)国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	一般社団法人 日本作業療法士協会	事例報告登録制度 一般事例A審査委員	2017.9~2019.8	
2	一般社団法人 日本作業療法士協会	日本作業療法学会 第5期演題審査委員	2018.1~2019.3	
3	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	学術誌編集委員会 査読委員	2018.12~	
4	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事、会計委員長	2018.4~	
5	日本リハビリテーション連携科学学会	学術誌査読委員	2013.4~	
6	一般社団法人埼玉県作業療法士会	埼玉作業療法研究編集委員	2003.4~	
7	特定非営利活動法人 動物介在教育・療学会	理事、動物介在療法コーディネーター養成講座委員会	2015.11~	
8	特定非営利活動法人 動物介在教育・療学会	学術誌編集委員、学術大会実行委員	2018.4~	
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	地域産学連携委員会委員			
2	地域専門職連携推進部会部員			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	道学教師理事長賞	埼玉県立大学	2019.3	
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
<p>学生指導:さいたま市、大学コンソーシアムさいたま主催「第8回学生政策提案フォーラムinさいたま」、チーム名:押久保ゼミ(作業療法学科3年6名)題目:「スキマ時間でスポーツを身近に~ふつからたまちゃんスリム化作戦~」を発表し、優秀賞を取得した。</p> <p>春日部市主催「大学生政策提案コンテスト2018」チーム名:Greatest OT(作業療法学科3年2名)題目:「フリーハウスで初めての春日部」を発表し、入賞した。学生8名を学生表彰に推薦し、表彰された。</p>				